

みんなで育てよう『地域の宝富田っ子』

大野市富田小学校

取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	13回 (のべ) 10日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	33人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	45人
登下校支援ボランティア	53人
その他 (学校給食畑ボランティア)	65人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

今年度は県より『子どもたちと農家の「学校給食畑」設置事業』を受け、学校近くの畑を借り、地域の方々の協力を得て、給食出荷用の野菜の栽培に取り組んだ。

以下のような、日程・内容で一年間地域の方々とともに、貴重な体験ができた。収穫した野菜は、いろいろなメニューとしてたびたび給食に登場した。

4月 給食畑運営委員会 (一年間の見通しを立て地域の方々からアドバイスいただいた。)

じゃがいも植え (縦割り班で、6年生を中心に作業をすすめた。)

5月 夏野菜植え (縦割り班で、希望の野菜の種まき・苗植えを行った。)

夏野菜支柱組み立て (保護者ボランティアの方による、棚・支柱取り付け)

6月 さつまいも苗植え (低学年と老人クラブの方々で苗の植付を行った。)

7月 じゃがいも収穫 (縦割り班で、6年生を中心に収穫作業をすすめた。)

収穫野菜が初めて給食に登場

8月 夏野菜収穫 (学校やプールの行き帰りに適宜収穫。)

9月 葉物野菜植付

(各学年ごとに秋～冬収穫できる野菜の種まき・苗植え)

11月 葉物野菜適宜収穫・校区小中学校へも配布、たまねぎ苗植付

(地域の方々の協力を得て作業をすすめた。)

12月 大根・白菜収穫 (新聞紙をまいて冬期間保存できるように)

1～3月 時々、大根・白菜が給食に登場

3月 給食畑運営委員会 (反省と、次年度の計画)



成果と課題 給食畑活動のおかげで、年間を通じて、野菜の豊富なおいしい給食をいただくことができた。いつも食べている野菜がどのように育っていくのか、体験を通して学ぶことができた。また、一年間を通して野菜を育てるためには、多くの苦労があることも理解できた。地域の方々ともたくさんの心のふれあいができ、富田の宝を守っていこうという気持ちを育むことができた。